令和８年度　市長をかこむ会　喜須来地区　R8.9.24　19：00～20：30　場所：喜須来地区公民館

出席者	住民	33人	市　大城市長・井上市立病院事務局長 政策推進課　山下補佐・濱口主査

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防災危機管理課	※事前質疑 大平の交差点（十字路）について	自動車専用道路、八幡浜市へ入る大平交差点で降りてくる車両が右折する際、直進車が多く信号機が赤にならないと右折できない場合が多い。 特にフェリーが着いた時や夕方の時間帯にこのケースを良く見る。直進車は信号内に入る時、スピードを上げて入ってきているので大きな事故につながる可能性がある。 そのため、右折信号を取り付けていただきたい。	信号機の設置等に関することは、八幡浜警察署交通課が窓口となり、道路の構造等に関することは、八幡浜土木事務所（愛媛県）が所管となるため、双方に情報提供する。
生涯学習課	※事前質疑 八幡浜市健康麻雀大会の開催について	市民の心身の健康づくりについては、多方面にわたりさまざまな活動が展開されていることをうれしく思っている。近年、お年寄りのボケ防止によいということで全国的に健康麻雀教室が展開されている。当市でも数年前より、喜須来公民館で、今年も6月からは日土東公民館で教室が開かれており、また白浜地区では女性限定の個人の教室も開かれていて、合わせると小中学生からお年寄りまで50名以上の方々が同じ卓を囲んで麻雀を楽しんでいる。また、市の有料放課後児童クラブでも毎月30名ほどが楽しく麻雀の勉強をしている。 市の文化活動事業として囲碁・将棋大会も実施されているが、年々参加者の減少は続いている。囲碁・将棋人口の数十倍は存在する（潜在者を含む）健康麻雀愛好者の日頃の練習の成果を確認する場として、この大会の実施を強く要望する。もし、検討の余地があるようであれば、これらの方々の要望書をとりまとめて提出する。	市が主催する行事として実施するためには、多くの市民の参加が見込まれるか、また、市外からの参加者を呼び込み、本市のPRや交流人口の拡大につながるかなど、公益性や事業効果を十分に考慮する必要があると考える。 現在、文化・スポーツの分野においては、それぞれの団体が自ら主体となって大会などを開催している事例も多くある。 市内には健康麻雀の愛好者も多くおられるとのことなので、まずは愛好者の皆様が中心となって大会を企画・開催していただき、健康麻雀の普及や大会開催の実績を積み重ねていただければと考えている。 なお、市では、市内の各種団体や市民グループ等が自主的・主体的に企画・実施する魅力的なまちづくりに資する事業やイベント等を支援するため、「八幡浜市がんばる市民応援補助金」を設けている。 健康麻雀大会の開催を企画される場合は、こうした補助制度の活用も含め、ご検討いただければと思う。 （参考）がんばる市民応援事業 ・補助率：8/10 ・補助上限額：50万円
建設課	※事前質疑 喜木川除草作業について	喜木川沿いの散歩が日課になっている。河川工事後の除草が気になる。年に何回か見廻り等してもらっているのだろうか。県の仕事かも分からないが、せめて4月の桜祭りには気持ち良い河川になってほしいと思う。 手作業で除草できる時をわざわざ重機を入れて大がかりな除草をしている。上手に除草できないものだろうか。今、オレンジバイパス横～八幡浜教習所までの道中がひどい状態である。	八幡浜土木事務所河川港湾課へ確認したところ、除草を目的とした工事は行っていないが、出水時の円滑な流水を阻害する恐れのあるヨシについては、堆積土砂とあわせて、順次除去していき、また、施設管理を目的としたパトロールは定期的に実施しているとの回答を得た。
生涯学習課	スケートパークの活用について	指導者無しで勝手に使用していいと、あまり広まらないと思う。指導者は必要なのではないか。その辺はどう考えているのか。	ムラサキスポーツ監修なので、その傘下の選手の方々に声をかけ、来てもらうこともできる。また、年に数回、スケートボード教室も開催している。現在、生涯学習課で上手く活用できるようなプログラム作成をしているので期待してもらいたい。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
政策推進課	ふるさと住民登録のメリット	登録することのメリットを知りたい。	国の制度で、令和9年度から始まるので、詳細はまだ決まっていないが、ベーシック登録とプレミアム登録がある。プレミアム登録では、年3回以上、八幡浜に来てボランティア作業等をしていただいた方には恩恵を受けられる仕組みであり、この機会に八幡浜を売り出したい。皆さんからのアイデア等もいただきたい。 【補足】 プレミアム登録の要件である「担い手活動」は、農業の手伝いやイベント運営、自治会活動の参加など、人手不足の解消や地域貢献を行う具体的な活動のことなので、広く市民の皆さんから提案していただきたい。
政策推進課	有名人招致の費用面について	白鵬のトークセッションは良いことだが、大谷翔平などの有名人を呼んだら、億単位の費用が掛かり、赤字にならないか心配。	トークセッションは東京やわたはま会の一環であり、二宮清純氏の人脈を使い、費用が抑えられる形で有名人に来てもらっているので、費用面の心配はしていない。
政策推進課	道の駅（みなっと）のランクアップ策について	みなっとが道の駅ランキングの７位になったが、さらに上位にするための具体的な方策を知りたい。	回転ずしやスケートボードパークもでき、駐車場も整備される。まずは地元の人たちに盛り上げてもらい、市外から来られる方々がその姿を見て、伝えてもらう。市民がイベント等で楽しむこと（ソフト面）が一番の集客に繋がると思っているので力を入れていきたい。
財政課	本庁舎の障害者用駐車場のに増設ついて	本庁舎の障害者用駐車場が一番遠い場所にあるため、足の悪い高齢者等が利用しやすいよう、スロープ付近（玄関前ロータリーや左端）に駐車場を作ってほしい。	駐車場全体の改修には時間がかかるが、玄関前のロータリーの一部に障害者用駐車場の枠が作れないか、持ち帰って担当者とすぐに検討する。 【補足】 年内を目安として、ロータリーの一部に1区画「思いやり駐車場」を設置予定。
保健センター	高齢者外出支援（バス券・タクシー券）の拡充について	三世代同居などで車に乗らない人がいる場合、使っていない人の分のバス券（外出支援チケット）を追加でもう一冊回してほしい。	使っていない人の分を他人に回すことは難しい。車を運転している人は、車を購入する費用や、税金も払っているので別々に考えていただきたい。
政策推進課		タクシーの回送料が高く感じるので改善してほしい。	回送料はタクシー会社が決めることである。市では、バスがない地域に「乗り合いタクシー」制度を導入しているが、導入するためには、公共交通会議にかけて、地域や交通業者の承認を得る必要がある。
防災危機管理課 生活環境課	防犯カメラの設置補助とゴミ出しマナーの改善について	須川の公民館付近の五差路に防犯カメラを設置し、ごみの不法投棄やマナー違反（分別違反など）を減らしたいので、市の補助金を出してほしい。	まずは地区の総会等でマナーを徹底してもらうことが基本。防犯カメラはプライバシーや設置場所のハードルが高く市での保有・設置は難しいが、要望として検討はする。 【補足】 現在、市が設置している防犯カメラは施設の管理目的のものに限られており、犯罪等の発生抑止を目的として設置した事例はない。地域や個人で設置されている防犯カメラやドライブレコーダーを活用するなど対応をお願いしたい。（防災危機管理課）

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
農林課	みかん農家の配管修理等に対する補助金の増額について	ふるさと納税で多額の収入があるのだから、みかんづくりの管防除における配管修理などの補助金を増やしてほしい。	ふるさと納税による寄附金については、おおむね半数が返礼品の調達や手数料などの経費に充てられている。また、残りの貴重な財源につきましても、昨今の人件費や施設建設費の高騰などにより、本市の財政状況は厳しい状況にある。末端整備事業として計画的に予算をつけて対応しているのでご理解いただきたい。 【補足】 回答の通り本市の非常に厳しい財政状況やふるさと納税の経費負担等の制約がある中で、これまでも末端整備事業として計画的な予算配分に努めている。 スプリンクラー施設の配管修理などの補助金については、昨今の資材価格の高騰や農家の経営実態を深く勘案し、産地維持の重要性を最優先に考慮した結果、令和8年9月補正予算において、土地改良施設維持管理補助金を400万円増額する措置をした。
防災危機管理課	事前復興計画の公表について	令和8年の復興プロセス編成など、事前復興計画の内容は市民に公表され、見ることができるのか。	現在作成している段階であるため、計画の作成状況を市ホームページにて公表し、完成した段階で計画を公表したい。 また、作成段階では、アンケート調査やワークショップを実施し、市民からの意見を反映した計画とする。